

生徒会役員認証式、各種表彰式（皆勤賞含む）、終業式

終業式校長講話要旨

学習館前のソメイヨシノが開花しました。この桜は、校内で一番早く開花します。同じ敷地内にあって開花の時期が違うのには理由があるはずです。桜の木に隣接する学習館の使用状況と関係があると考えます。本校は、自習場所として、放課後や休日も含めて、常時、学習館を開館しています。特に受験勉強の総仕上げをする秋から春先にかけては、生徒の利用率が高まります。その時、館内の暖房と照明によって、学習館の南側に位置し、他の桜よりも多くの熱量を受けていると考えます。さらに生徒の学習に対する熱意が加わっているのではないのでしょうか。それが、下妻一高で一番先に咲く理由だと思います。



先日の職員会議で、海外留学をしている生徒を除く在校生の進級を認めました。おめでとうございます。新しい学年に向けた準備をしていきましょう。

また、皆勤者数は、1学年117名、2学年103名となり、100名を超えました。皆勤者が100名を超える学校は、決して多くはありません。下妻一高では当たり前のように感じられることですが、生徒の皆さんが、健康で意欲を持って学校生活に取り組んでいる結果です。皆さんの頑張りを称えます。これには、各個人の資質と努力に加えて、食事や送迎、経済的負担などで支援してくれる家庭の協力は勿論のこと、共に学ぶよき友人の存在や先生方との信頼関係等様々な要因に裏打ちされていることを肝に命じてください。

今年度を振り返ると、多くの場面で、生徒の皆さんの活躍がありました。部活動では、全国大会や関東大会に出場する部が多数ありました。これに満足すること無く、更に良い成績（日本一）を目指してください。進学実績においても、後ほど進路指導部長より詳しい分析がありますが、18年連続で国公立100名以上の合格者が出ました。大変嬉しいことです。皆勤者数や進学実績においても本校の学校力が発揮されました。一方で、今年度を振り返って、反省すべき点はあったでしょうか。下妻一高の生徒には自己教育力を持ち、自分の行動を自分で律していくような姿を期待します。私の課題は環境整備です。中学校で目にした標語に、「場を整え、心を整える」があります。とても良い言葉です。学習環境を整えましょう。

某学習塾のCMに、YDKという言葉があります。「やればできる子」は「やらないからできない子」とも解釈できます。学習や運動に励むことも併せて、皆さんには「やってできる」「やってできた」という達成感を経験して欲しいと思います。

春休み中も課外や部活動で忙しいと思いますが、事故無く過ごして、新年度に向けた準備をして下さい。

